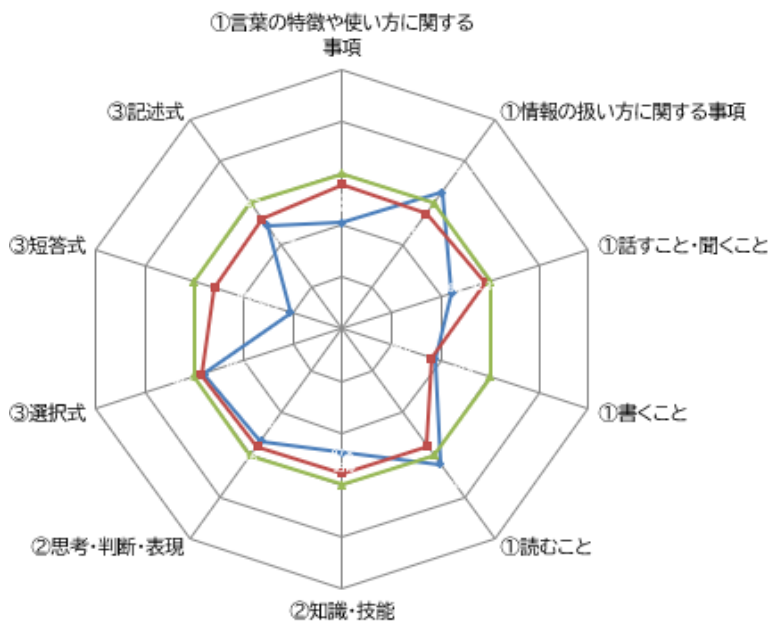
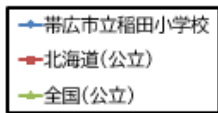


R5稲田っ子の学力～基礎・基本の確実な定着に向けて

令和5年4月18日に実施されました、全国学力・学習状況調査における本校児童の結果の概要及び取組の成果や課題をお伝えいたします。

本校においては、「学力向上会議」を開き、全職員で分析を進めることで、成果と課題の検証や、本校児童の学力についての共通理解を図っているところです。



国語

<国語の基礎・基本の定着について>

○読むことの領域や「情報の扱い方に関する事項」の問題で全国平均を上回っている。

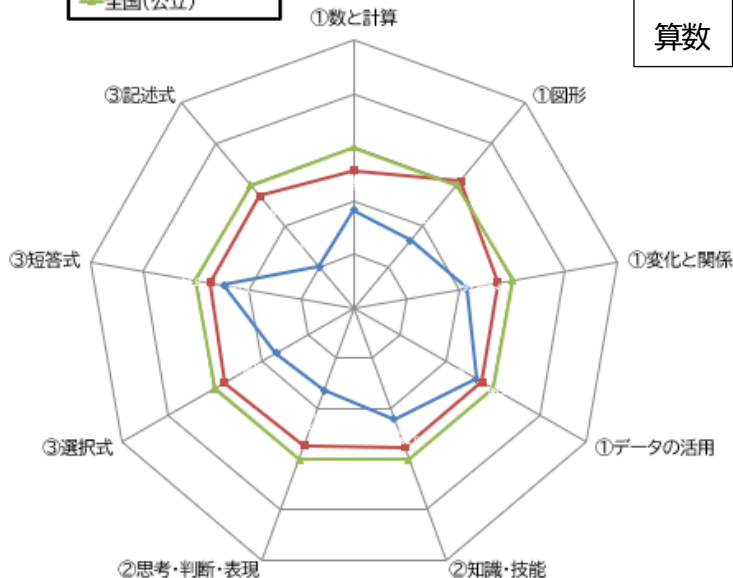
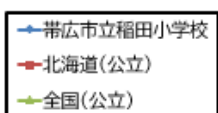
△全体的な正答率は全国平均を下回っている。

△「書くこと」「話すこと・聞くこと」の領域で全国平均を下回っている。

<今後に向けて>

□学校全体で、条件に合わせて文章を書く取組を日常的に行ってきたことについては、無解答率の低下につながるなど、成果と言える。今後は、情報を取り出して短くまとめるなどの記述のスキルを高めていく必要がある。

□校内研究は「読むこと」領域の授業改善を進めてきた成果が表れている。今後はその他の領域の指導との関連を意識した授業改善を図っていく必要がある。



算数

<算数の基礎・基本の定着について>

○伴って変わる2つの数量関係について答える問題が全国平均を大きく上回っている。

△全体的な正答率は全国平均を大きく下回っている。

△記述式の問題の正答率が全国平均を大きく下回っている。

<今後に向けて>

□知識・技能の観点、短答式の問題と比較して、思考・判断・表現の観点、記述式の問題の正答率に課題がみられる。実生活と関連させた知識・技能の活用場面を設定するなどの授業改善に取り組んでいく必要がある。

児童質問紙の結果から

児童質問紙では、児童の学習の様子や生活の習慣などの様子を調査しています。主体的、対話的で深い学びの充実を図るための学習環境の素地づくりは全校の課題でもあります。ICTの効果的な活用を進めるとともに個別最適な学びの充実についても学校全体で取り組みを進めていきます。

	質問項目	稲田小学校	昨年度の稲田小学校
規範意識	・自分にはよいところがあると思う	↓	↓
	・人の役に立つ人間になりたいと思う	↓	↓
	・将来の夢や目標をもっている	↓	↓
	・いじめはどんな理由でもいけない	↑	↑
学習習慣	・授業以外に、普段1日あたり1時間以上勉強する	↓	↓
	・家で自分で計画を立てて勉強している	↓	↑
	・朝食を毎日食べていますか	↑	↓
	・授業以外に普段1日あたり30分以上ICT機器を勉強のために使っている	↑	↑
学習への意欲	・算数の勉強が好き。	↓	↓
	・算数の授業の内容はよくわかる	↓	↑
	・国語の勉強は好きですか	↓	↓
	・国語の授業内容はよくわかる	↓	↓

昨年度と同様、「いじめはどんな理由でもいけない」と回答する児童が全国平均を上回っています。道徳や学習活動全般を通して一人一人の人権を大切にきた指導を行ってきたことがつながっていると考えます。また、タブレット等ICTの活用については、今年度はデジタルドリルによる課題を日常的な取組として進めていることが、成果につながったと考えています。今後は学習の定着度を鑑み、効果的な活用方法について検証していきます。

課題としては、学習への意欲がやや低く「授業内容はよくわかる」と回答している児童も低いところが挙げられます。今後は、勉強がわかって楽しいということが日常の授業の中で実現できるように、授業イノベーションチームを中心に研修を進めていきます。

今後も、全職員の共通理解のもとで授業改善等を進め、稲田っ子の学力の向上に努めてまいります。